


大子町(だいごまち)

	町章	〒 319-3526	地域指定	一部事務組合加入事業	法人番号	3000020084425
	〈住所〉久慈郡大子町大字大子866番地 〈TEL〉0295-72-1111 〈FAX〉0295-72-1167 〈HP〉http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉info@town.daigo.lg.jp	〈TEL〉0295-72-1111 〈FAX〉0295-72-1167 〈HP〉http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉info@town.daigo.lg.jp	退職手当 消防賞じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市 町村会館管理 滞納処分等 農業共 済	公営企業 ※令和3年3月31日現在 法適用(上水) 法非適用(特定地域生 活排水)		
類型	IV-1	地方公共 団体コード	083640	面積	325.76 km ²	

<行政組織>

①長等(令和3年5月1日現在)

長	たかなし てつひこ 高梨 哲彦 (52歳)	任期	令和5年1月11日
副町長	赤津 康明		
		就任回数	1 期目

②議会(令和3年5月1日現在)

議長	齋藤 忠一	副議長	金澤 真人
任期	令和6年3月30日	条例定数	13 人
党派別	自民3人、公明1人、無所属9人		
現議員数	13 人		

③職員数(令和2年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業 会計関係		
	うち一般行政関係				
245	213	154	32		
一般行政職の 平均給料月額	3,019 百円	ラスパイレ ス指数	99.0	地域手当 補正後 ラス指数	99.0
全職員数 の推移	平成29年4月1日	平成30年4月1日	平成31年4月1日		
	252	250	250		

④機構図(令和3年4月1日現在)

〈町長〉 - 〈副町長〉
総務課 まちづくり課 財政課 税務課 農林課 観光商工課 建設課 福祉課 健康増進課 生活環境課(環境センター、衛生センター) 町民課
〈会計管理者〉 会計課
〈消防本部〉 消防課、警防課、予防課、消防署
〈水道事業〉 水道課
〈教育委員会〉 教育委員会事務局
〈農業委員会〉 農業委員会事務局
〈行政委員会〉 選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会
〈議会〉 議会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年3月31日 合併 大子町 依上村 佐原村 黒沢村 宮川村 生瀬村 袋田村 上小川村 下小川村の一部
--

②地勢・風土等

茨城県の最北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県に接するやや南北に長いほぼひし形の形をした広大な町である。面積の約8割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地である。気候は低温多雨の寒暖の差が大きい山岳気候で、この特性を活かしてお茶、りんご、こんにゃく、お米などの多くの特産物が生産されている。日本三名瀑の一つ袋田の滝をはじめ、県内最高峰の八溝山や男体山の秀峰、久慈川の清流、奥久慈温泉郷などの自然資源に恵まれた山紫水明の地で、年間150万人の観光客が訪れる観光と農林業の町である。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和3年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	10,743	9,780	8,765	7,542
	女	11,360	10,293	9,288	7,864
	合計	22,103	20,073	18,053	15,406
世帯数	7,356	7,140	6,733	6,376	

④有権者数(令和3年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	7,188	7,435	14,623	45.4 %

<産業・経済>

①生産・所得(平成30年度)

市町村内 総生産	482 億円	住民所得	385 億円
		人口1人当り住民所得	2,308 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成30年度)	就業人口(平成27年国調)
第1次	3,007 6.2 %	1,383 15.9 %
第2次	13,189 27.4 %	2,714 31.3 %
第3次	31,752 65.9 %	4,582 52.8 %
総額・総数	48,216 -	8,855 -

③農業・工業・商業

	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
農業 (平成27年2月1日)	2,025	321	1,385
製造業 (令和元年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H30.1.1~12.31)
	44	1,108	19,356
卸・小売業 (平成28年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
	281	1,146	16,933

④特産物

大子産米、奥久慈茶、奥久慈りんご、生いもこんにゃく、常陸大黒、奥久慈しゃも、久慈川の鮎、大子漆(うるし)、大子那須楮(こうぞ)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	増減率
歳入	9,451,813	10,401,187	10.0
歳出	8,824,171	9,614,474	9.0
形式収支	627,642	786,713	-
実質収支	615,674	546,025	-
単年度収支	250,051	△ 69,649	-
実質単年度収支	△ 43,012	△ 22,383	-

②主な歳入・歳出(令和元年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	10,401	-	949	10.0
地方税	1,782	17.1	22	1.3
地方交付税	4,127	39.7	441	12.0
国庫支出金	834	8.0	133	19.0
地方債	820	7.9	134	19.5
うち臨財債	211	2.0	△ 55	△ 20.7
その他	2,838	27.3	219	8.4
うち繰入金	39	0.4	△ 349	△ 89.9
歳出	9,614	-	790	9.0
義務的経費	4,176	43.4	94	2.3
人件費	2,000	20.8	33	1.7
扶助費	1,203	12.5	44	3.8
公債費	973	10.1	17	1.8
投資的経費	1,083	11.3	△ 32	△ 2.9
普通建設事業費	818	8.5	△ 297	△ 26.6
うち補助	278	2.9	△ 175	△ 38.6
うち単独	540	5.6	△ 122	△ 18.4
その他の経費	4,355	45.3	728	20.1
うち繰出金	984	10.2	1	0.1

③主要指標(令和元年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.46)
連結実質赤字比率	- % (19.46)
実質公債費比率	3.4 % (25.0) [6.7]
将来負担比率	24.6 % (350.0) [41.9]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和2年度)	0.333	[0.707]
経常収支比率	88.8 %	[92.4]
標準財政規模(令和2年度)	5,976 百万円	[15,286]
地方債現在高(A)	9,696 百万円	[25,735]
債務負担行為支出予定額(B)	846 百万円	[5,072]
積立金現在高(C)	3,833 百万円	[6,586]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	6,709 百万円	[24,221]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和元年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	586,199 (31.3)	564,909 (31.7)	96.4 [96.8]
市町村民税・法人 (構成比)	100,805 (5.4)	97,229 (5.5)	96.5 [98.8]
固定資産税 (構成比)	980,948 (52.4)	920,220 (51.6)	93.8 [96.5]
市町村税合計 (国保除く)	1,871,367	1,781,744	95.2 [96.9]

<公共施設整備状況>(令和元年度) ※1は令和2年度

小学校 ※1	6 校	体育館	2 か所
中学校 ※1	4 校	プール	0 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	9 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	8 か所
認定こども園 ※1	0 園	道路改良率	40.2 %
図書館	0 か所	道路舗装率	65.6 %
公営住宅	221 戸	上水道等普及率	99.3 %
公民館等	3 か所	汚水処理普及率	50.1 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
医師確保支援事業及び医師就学資金貸付金	R3	新たに常勤医師または非常勤医師を雇用した町内医療機関への補助金の交付及び町内医療機関で、医師として勤務しようとする学生への修学資金貸与により、医師不足の解消及び地域医療体制の強化を図る。	12
観光物産館改修事業	R3	道の駅の魅力向上を目的に、商品の販売形態の変化や通路の確保など売店の売り場面積の拡張や設備の老朽対応を含めた改修を行う。	61
交流拠点整備事業(都市再生整備計画事業)	R3	地域資源の効果的な活用として、多様な役割を兼ね備えた拠点施設を整備することで、町民と来訪客との交流を図るとともに、既存施設との連携により相乗効果を図る。	8
松沼橋改築事業	R3	R2から6年度までに久慈川緊急治水対策プロジェクトで国の直轄事業により架け替えが行われる松沼橋の拡張の割合に応じた事業費を負担するもの。R3年度負担分の事業はR2年度から実施されている調査測量、予備設計、地質調査に加え詳細設計や用地の購入、補償などが予定されている。	52
新庁舎建設事業	R3	機能性や効率性を追求し建設コストの削減に努めるとともに、災害時においても継続して事業を行える、防災の拠点となる庁舎整備を図る。	1,272

②今後の主要課題・特色ある行政等

1 誰もが安心・安全を実感できるまちづくりを推進する ・新型コロナウイルス感染症への対応 ・災害に強いまちづくりの推進 ・誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりの推進 ・福祉や健康長寿、生活環境の充実
2 次世代を担う若い世代への投資を強化する ・小中学生等への教育の充実による未来の担い手の育成 ・若い世代への支援の充実による町を支える人材の確保
3 地場産業の未来を応援し足腰の強い大子町を創造する ・農業や中小企業への支援の強化 ・就労機会の創出など雇用対策の促進
4 民間企業等との連携により外部ノウハウを活用した魅力向上策の刷新を図る ・奥久慈の大自然を活かした新たな観光と交流の創生 ・観光資源の積極的なプロモーションと町全体の魅力向上
5 魅力あふれる住み良いまちを創造する ・新庁舎建設の推進と行政サービスの質的向上 ・庁舎移転を見据えた中心市街地の賑わいのあるまちづくりの推進 ・AIやICTの活用による町民サービスの向上